

国保

鹿児島県国保連合会

# かごしま

特集

トップインタビュー 指宿市長 豊留 悅男  
**「健幸」という色に染まる  
まちづくりを**

KOKUHO  
KAGOSHIMA

2019

1

No.610

年頭のごあいさつ

鹿児島県国民健康保険団体連合会 理事長 隈元 新  
鹿児島県 知事 三反園 訓  
国民健康保険中央会 会長 岡崎 誠也



## 市町村の取り組み

健幸ポイントプロジェクト & 健幸マイレージ(指宿市)  
日常生活における「歩数」と「医療費」の  
関連性に着目した健康づくり

## よくわかる糖尿病

鹿児島県糖尿病重症化予防プログラムの  
内容と問題点

文／鹿児島大学病院 糖尿病・内分泌内科 助教 橋口 裕

# 「保険者から信頼される連合会」の実現に向けた組織運営に努める



鹿児島県国民健康保険団体連合会  
理事長 隈元 新

新年あけましておめでとうございます。平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んでごあいさつ申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より国民健康保険事業ならびに介護保険事業の円滑な運営にご尽力いただき、深く敬意を表しますとともに、本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化、医療の高度化による医療費の増嵩等、国民健康保険制度の運営は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、昨年示された『骨太の方針2018』におきましては、社会保障制度改革に重点的に取り組むとされ、健康寿命の延伸のための疾病予防・重症化予防を重要課題として『人生100年時代』の到来を念頭に、健康づくり事業へのインセンティブをはじめ、今後幅広く社会保障制度を持続可能なものとするための具体的な取り組みについて、議論が展開されていくものと考えております。

また、昨年、県が国保の財政運営の責任主体として国保運営の中心的役割を担い、安定的・効率的な事業運営の確保と、財政基盤の強化を図っていく新制度が施行されました。

本会といたしましても、国情勢や制度

改革に迅速かつ的確に対応し、保険者の共同体としての役割と責任を再認識し、制度の安定的な運用のため、また、保険者がこれまで以上に効率的で実効性のある施策を実施・展開できるよう、これまで培った業務

健康保険事業ならびに介護保険事業の円滑な運営にご尽力いただき、深く敬意を表しますとともに、本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化、医療の高度化による医療費の増嵩等、国民健康保険制度の運営は依然として厳しい状況にあります。

このようにしたまでは、平素より国民健

新 年頭のごあいさつ

実績とノウハウを十分に機能させ、保険者支援に積極的に取り組み、「保険者から信頼される連合会」の実現に向けてその責務を果たしてまいります。

「国保審査業務充実・高度化基本計画」を踏まえ、コンピュータチェックによる審査の拡充及び全国の共通ルールによる審査基準の統一化(差異解消)を国保診療報酬審査委員会との連携を図りながら推進し、効率的かつ効果的な審査を実施してまいります。

あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費においては、31年度から新たに審査会を設置し、療養費の適正化を推進してまいります。

また、保険者支援としましては、国保データベース(KDB)システム、新医療費分析システム等を活用した、生活習慣病の発症及び重症化予防等に関するデータの提供、データヘルス計画に基づく効率的・効果的な保健事業、国保税(料)収納率向上、第三者求償事務等、保険者努力支援制度の評価指標の達成に向けた保険者の取り組みを支援してまいります。その他、テレビ番組等を活用した生活習慣病予防等の広報、介護給付費適正化事業等についても充実を図ってまいります。

昨年の11月16日に東京・明治神宮会館にて開催された「国保制度改革強化全国大会」におきましては、国保制度改革の円滑な実施のため、毎年3400億円の確実な公費投入や、財政基盤強化策を講じること

などを求める決議がなされ、決議の実現に向けて政党や政府関係者に要請活動を行いました。この活動は、各保険者の国保運営を円滑に実施していくためにも継続して取り組むことが重要であることから、これらも皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、本年もさらなるご理解、ご協力を心からお願い申し上げるとともに、新しい年が皆さま方にとつて実り多き年になりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成31年 元旦



年頭のごあいさつ

# 「生まれてよかったです。住んでよかったです。」 と実感できる鹿児島を目指して

鹿児島県  
知事 三 反 園 訓

平成31年の年頭に当たり、謹んで新年の  
お慶びを申し上げます。

各保険者及び鹿児島県国民健康保険団体  
連合会の皆様には、日頃から国民健康保険  
事業及び介護保険事業等の健全な運営に多  
大な御尽力をいただき、心から感謝を申し  
上げます。

さて、医療・介護保険制度の運営に当たつ  
ては、急速な少子高齢化など大きな環境の  
変化に直面している中、2025年にはい  
わゆる「団塊の世代」が全て75歳以上とな  
る超高齢社会の到来や、医療の高度化等に  
より、社会保障関係費が医療・介護分野を  
中心に増大傾向にあるため、医療保険制度  
の持続可能性の確保と安定化が喫緊の課題  
となつております。

このようなく、国民健康保険制度は、昨  
年4月から、県が国保の財政運営の責任主  
体となり、国保運営について中心的な役割  
を担うことにより、制度の安定化を図ること  
ととされたところです。

円滑に、新制度への移行が行えましたの  
も、市町村及び国保連合会の皆様のお力添  
えのたまものであり、改めて厚くお礼を申  
し上げます。

介護保険制度につきましては、平成29年  
の法改正に基づき、地域包括ケアシステム  
の深化・推進や制度の持続可能性の確保を  
主眼とした制度運用が行われております。  
県としましては、この法改正を踏まえて  
作成した「第7期高齢者保健福祉計画（平  
成30年度～平成32年度）」に基づき、高齢  
者が住み慣れた地域で安心して暮らしてい

けるよう、市町村とも連携しながら、在宅  
医療及び医療・介護連携によるサービスの  
提供や認知症施策の推進など、引き続き、  
介護基盤の整備やサービスの質の確保・向  
上に努めてまいります。

このほか、県民の健康づくりにつきまし  
ては、現在の健康増進計画「健康かごしま  
21（平成25年度～平成34年度）」が、計画  
策定後5年を経過したことから、昨年、中  
間評価を実施した結果、健康寿命の延伸や  
特定健康診査の受診率等、目標値を達成又  
は改善しているものが6割を超えるなど、  
計画全体としては順調に進捗しているとこ  
ろです。

引き続き、目標達成に向けて関係団体等  
と連携して、がんや脳卒中、ロコモティイブシ  
ンドローム等の対策に取り組み、県民の健  
康づくりを一層推進してまいります。

また、昨年3月には、「県民が健康で長生  
きでき、安心して医療を受けられる、みんな  
が元気な鹿児島」を基本理念とする「第  
7次鹿児島県保健医療計画（平成30年度～  
平成35年度）」を策定したところであり、保  
健医療に係る各種調査等に基づき、本県の  
地域的な課題の分析を行った上で、医療連  
携体制の整備などを推進するとともに、地  
域包括ケア体制の整備充実など、将来を見  
据えた施策を推進することとしておりま  
す。県民の誰もが住み慣れた地域で必要な  
保健・医療・福祉等のサービスを受けるこ  
とができる社会を目指し、各種施策の更な  
る推進・充実に努めてまいります。

知事就任から2年を経過した昨年の8月

には、マニフェストの進捗・取組状況を公表  
したところですが、医療・福祉関係につきま  
しては、高齢者の健康づくりや社会参加活  
動に対するポイント制度の拡充など健康寿  
命を延ばすための介護予防や健康づくりを  
推進し、マニフェストに掲げる施策の実現  
に向け取り組んでまいりました。

今後とも、県民の皆様の声に積極的に耳  
を傾けながら、「鹿児島に生まれてよかつ  
た。鹿児島に住んでよかったです。」と思える  
「新しい力強い鹿児島」を目指してまいり  
ますので、県政に対する御理解・御協力を  
お願いいたします。

鹿児島県国民健康保険団体連合会におか  
れましては、今後とも、診療報酬・介護報  
酬の審査支払や、保険者事務の共同処理、  
保健事業などの推進をはじめ、各保険者に  
対する医療費分析などの各種情報の提供や  
助言・支援に努められ、国民健康保険事業  
及び介護保険事業の安定的な運営に御尽力  
いただきますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、各保険者及び鹿児島県國  
民健康保険団体連合会のますますの御発展  
と皆様の御健勝・御多幸を心から祈念いた  
します。

平成31年　元旦



## 年頭のごあいさつ

# 国保制度を持続可能なものとするために総力をあげて取り組む

# 国民健康保険中央会 会長 岡崎誠也

公費の拡充など財政支援の強化が図られることとなりました。これに合わせて本会では、厚生労働省から依頼を受けて、国保保険者標準事務処理システムを開発いたしました。国保事業費納付金等算定標準システム、国保情報集約システムについては、全国すべての都道府県及び国保連合会で、また、市町村事務処理標準システムについては、当初の想定を大きく超える256市町村においてご活用いただいており、今後も普及が見込まれます。本会は、引き続きシステムの安定稼働に注力してまいります。

新年あけましておめでとうございます。  
平成31年、平成最後の新春を迎え、一言  
ご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃から国保中央会の運営に對  
しまして、ご支援とご協力をいただいてお  
りますことに厚く御礼を申し上げます。

ご案内のとおり、本格的な少子高齢化の  
進行、就業構造の変化、経済の低成長な  
ど、国保制度を取り巻く環境は年々厳しさ  
を増しており、国保の事業運営は、今まで  
以上に厳しくかつ困難な多くの課題に直面  
しております。

このよきな状況の下、昨年4月より、国  
保運営の在り方の見直しと国保の財政基盤  
強化を大きな柱とする半世紀ぶりの大改革  
が実施され、医療提供体制の整備を担つて  
きた都道府県が、国保についても財政運営  
の責任を負うとともに、国保に没入される

大きな改革が進む国保制度を持続可能な  
ものとしていくため、本会としては、全国の  
国保連合会の皆様とこれまで以上に一体と  
なつて、全国知事会、全国市長会、全国町村  
会をはじめとする地方団体や国保組合など  
の関係団体とも十分に連携を図りながら、  
諸課題の解決に向けた取り組みを総力をあ  
げて進めてまいりますので、一層のご支援、  
ご協力を賜りますようお願い申し上げま  
す。

結びに、新しい年が明るく希望に満ちた  
素晴らしい一年となることを心からご祈念  
申し上げまして、新年のご挨拶といたしま  
す。

の最大の課題として、現役世代、いわゆる働き盛りの生産年齢人口の減少に着目し、誰もがより長く元気に活躍できるよう、医療保険者としても健康寿命の延伸に積極的に取り組んでいくことを強く求めておりまます。また、毎年増加する医療費の適正化という観点からも、予防・健康づくり事業の推進が極めて重要になります。

本会及び国保連合会においては、こうした保険者機能がより一層發揮できるよう、健診・医療・介護のヒッグデータを横断的に活用できる「国保データベース（KDB）システム」による各種データ提供等の支援を始め、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の中核となる「保健事業支援・評価委員会」による保健事業支援など、より効率的かつ効果的な健康づくりに貢献できるこ

譁賀新年

皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。